



第 77 卷 総 目 次

1994(平成6)年

元老制度再考……………	伊藤之雄…一(一)
教皇インノケンティウス四世の政治理論における教皇権と世俗権……………	尾崎秀夫…一(三三)
「ラヴァルのヴィシー」と世俗的教師……………	平野千果子…一(六四)
訟師秘本『蕭曹遺筆』の出現……………	夫馬進…二(一五七)
一九世紀前半のバイエルン王国における営業制度……………	谷口健治…二(一九〇)
清代前期食糧暴動の行動論理……………	堀地明…二(二二二)
幕末期の幕府の朝鮮政策と機構の変化……………	沈箕載…二(二五六)
一六世紀ポーランドにおけるテオクラシイ的国家観……………	小山哲…三(三三一)
戦後アメリカ合衆国の中東産油国政策……………	小野沢透…三(三六三)
平沼内閣運動と斎藤内閣期の政治……………	堀田慎一郎…三(三九四)
縦目仮面、「燭籠」と「祝融」……………	徐朝龍…四(四九三)
弥生時代における地方間交流……………	伊藤淳史…四(五三〇)
柳田民俗学と東大新人会……………	鶴見太郎…四(五七二)
漢墓の変容……………	黄暁芬…五(六六七)
唐代の觀察処置使について……………	鄭炳俊…五(七〇六)
清代後期湖広における財政改革……………	山本進…五(七三七)
清末粵海関の展開……………	岡本隆司…六(八〇九)

前五世紀ギリシアの歴史家と神託	青木千佳子	六(八四〇)
平安初期における鉛釉陶器生産の変質	高橋照彦	六(八七二)
中国共産党の党内民主主義	江田憲治	六(九〇三)

【研究ノート】

高麗王言考	矢木毅	一(九五)
吉野山村における近世前期の耕地経営	米家泰	一(一一六)
順治時代政治史試論	谷井俊仁	二(二八七)
倭寇及び被虜人と明海防軍	川越泰博	三(四二六)
『広興記』の明版について	大澤顯浩	三(四四四)
ドイツ初期敬虔主義思想の再検討	中谷博幸	四(六〇五)
「地方測量之圖」小考	山崎孝史	四(六二四)
ブライドウエル矯正院の内と外	乳原孝	五(七六五)
四神の一、朱鳥について	林巳奈夫	六(九三三)

【書評】

高山博著『中世地中海世界とシチリア王国』	山辺規子	一(一三五)
中塚明著『近代日本の朝鮮認識』	藤永壯	一(一四二)
今西一著『近代日本の差別と村落』	富山一郎	二(三〇七)
國方敬司著『中世イングランドにおける領主支配と農民』	朝治啓三	二(三一四)
小川晃一著『英国自由主義体制の形成——ウィッグとディセンター——』	川分圭子	二(三二〇)

佐藤卓己著『大衆宣伝の神話』——マルクスからヒトラーへのメディア史——	飯田	治	三	(四六九)	
前川和也編著『家族・世帯・家門——工業化以前の世界から——』	中村	敦子	三	(四七六)	
大戸千之著『ヘレニズムとオリエント——歴史の中の文化変容——』	春田	晴郎	四	(六四一)	
藤縄謙三編『ギリシア文化の遺産』	栗原麻子・小林功・桑山由文	四		(六四八)	
森田安一著『ルターの首引き猫』	渡邊	伸	四	(六五四)	
山田欣吾著『西洋中世国制史の研究Ⅰ 教会から国家へ——古相のヨーロッパ』					
『西洋中世国制史の研究Ⅱ 国家そして社会——地域史の視点』	佐々木	博	光	五	(七八三)
関口裕子著『日本古代婚姻史の研究』上・下	山本	一也	五	(七九四)	
小島晋治・並木頼寿編『近代中国研究案内』	飯島	涉	六	(九五二)	

【紹介】

ブロニスワフ・ゲレメク著(早坂真理訳)『憐れみと縛り首——ヨーロッパ史の中の貧民——』	田中	俊之	二	(三二五)
チャールズ・E・マクレランド(望田幸男監訳)『近代ドイツの専門職——官吏・弁護士・医師・聖職者・教師・技術者——』	佐藤	卓己	三	(四八二)